

時代区分Ⅱ (3)-①熊本方面から尖閣諸島への進出を示す資料

尖閣諸島への出漁状況が書かれている紀行文

No.14 南島探験

報H26/P9 1894年(明治27年)5月



所蔵: 沖縄県公文書館

資料概要

笹森儀助(ささもりぎすけ:青森県士族)が、1893年(明治26年)に沖縄県を訪問、沖縄本島及び宮古・八重山諸島を実地踏査した際の見聞を記した紀行文(※1)。

同書には、アホウドリ羽毛採取のために同諸島に渡った出稼人からの聞き取りや、野田正率いる漁業者集団が同諸島において漁業を実施することを計画し沖縄県に来島、同県で話題となったことなど、笹森が直に見聞したことが記されている。

巻末付録で笹森は、私見との断りを入れた上で(南島事務私見)、先島諸島(宮古・八重山諸島の総称)に島庁を設置し、尖閣諸島を含む各島の統括を提言している。

※1 尖閣諸島関連では以下の記述がある

- 7月1日 那覇役所で花本勘助以下から無人島胡馬島(※久場島)状況聴取
- 9月1日 無人島漁業者野田正一行と面談
- 9月3日 野田正一行消息
- 9月5日 野田正一行送別

内容見本

花本云該島ハ八重山ヨリ六十里位亥子ニ当リ旧正月十四日石垣島出帆全十六日該島ニ着シ爾来「バカ」島ノ綿毛ヲ採ル業ニ従事シ(略)

九月一日風雨強シ(略)

熊本県士族野田正氏昨夜着港ノ由ヲ以テ来訪セラル全行五人漁夫十一名漁船二艘ヲ搭載シ来ルト(略)南東拓殖ニ志シ第一着ニ琉球西南洋無人島胡場島ニ於テ漁業ヲ試開シ尚ホ進ンテ各所ノ無人島ヲ探験シ好所ヲ撰テ根居ヲ据ヘ大ヒニ南洋遺利ヲ収メントス(略)

全五日晴(略)

無人島漁業者野田正氏ノ先島行ヲ送ル(略)

南島事務私見

(略)

先島沖縄島大島ノ三区ニ大別シ叙ヲ逐フテ聊カ卑見ヲ陳ベントス

第一先島ニ施設ノ要項ヲ挙クレハ左ノ如シ

一先キ島ニ島庁ヲ置ク事 宮古島、八島、八重山、九島、無人島ナル久米赤島、胡馬島、魚釣島、三島合シテ二十島ヲ統括スル事(※2)(略)

※2 久米赤島は、大正島を指す。胡馬島は、現在の久場島と考えられる。文中の「先キ島」は、宮古・八重山諸島を包括した総称である「先島諸島」のこと。

作成年月日	1894年(明治27年)5月
編著者	笹森儀助
発行者	笹森儀助
収録誌	南島探験
言語	日本語
媒体種別	紙
公開有無	有
所蔵機関	沖縄県公文書館
利用方法	沖縄県公文書館で利用手続きを行う